

## 令和2年度 地域貢献事業活動報告書

1 事業名称	上越子ども支援プロジェクト
2 事業推進者等	責任者：助教・宮崎 球一（上越教育大学心理臨床コース） 顧問：佐藤 賢治（上越教育大学教職支援キャリアコース） 共同実施者：岡田 まりあ（上越市すこやかなくらし包括支援センター・臨床心理士）
3 学外の連携機関等	上越地域を中心とした小中学校等と連携した。本プロジェクトは、学校からの支援依頼に応じて小中学校等と連携し活動するものである。
4 事業活動報告	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響があり、学生を実習生として継続的に学校に派遣することが難しくなり、実習活動は実施しなかった。また、本事業の支援そのものについても、同様の理由で5月まで実施できず、学校と連携を行ったのは6月以降であった。なお、支援のための学習や支援の材料の作成などは、年間を通して行った。以上のことから、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初想定していたほどの活動が見込めなかったため、責任者の活動については、依頼に応じて高等学校も対象とし、必要に応じて支援も実施した。</p> <p>令和2年度は上越市立牧小学校、上越市立春日新田小学校、新潟県立柏崎特別支援学校のぎく分校、新潟県立海洋高等学校の計4校から依頼を受けて、責任者が支援、コンサルテーション等の活動を行った。</p>
5 本事業で得られた成果	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響があり活動が制限されたが、その中で責任者が行った活動には一定の成果があった。まず直接継続的な支援を行った学校では、行動問題に対してどのように対応するのか、責任者自身が実践しながら学校に方法を伝えることができた。またコンサルテーションでは、職員全体に対する研修会としても実施させていただき、行動問題へのアプローチや、児童生徒への機能的な声かけについて伝えた。またそれらを一定期間実施してもらい、2回目の研修に生かすなど、継続的に学校とつながって支援を提供することもできた。</p>
6 その他 <small>（成果物等の名称）</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度についても、新型コロナウイルスの影響で本事業の主目的である実習生の活動が困難なことが見込まれるため、本事業は令和2年度をもって終了することとした。</li> <li>・本事業の活動として、令和元年度に小学校で実施した支援の成果を、令和2年度の日本学校メンタルヘルス学会第24回大会（令和3年2月14日）で発表した。</li> <li>・事業の特性上、写真は撮影していない。</li> </ul>